

## 第46回「放送文化基金賞」表彰対象について

放送文化基金賞は、過去1年間(2019年4月～2020年3月)の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる賞です。今回は、全国の民放、NHK、ケーブルテレビなどから、全部で277件の応募、推薦がありました。5月末から約2か月にわたる厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞の16番組と、演技賞や出演者賞など個人6件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で7件の受賞が決まりました。

受賞者には、賞牌・トロフィー、賞金が贈られます。賞金は、番組部門の最優秀賞—100万円、優秀賞—50万円、奨励賞—30万円、番組部門の個人賞—20万円、個人・グループ部門—30万円です。

贈呈式は、2020年9月1日(火) 午後4時30分からオークラ東京で行います。

### 1. 番組部門———16番組、6件

- (1) テレビドキュメンタリー番組……………5番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—3
- (2) テレビドラマ番組……………4番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (3) テレビエンターテインメント番組……………4番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (4) ラジオ番組……………3番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—1
- (5) 個人……………6件  
「演技賞」——2件  
「出演者賞」——3件  
「演出賞」——1件

### 2. 個人・グループ部門———7件

- (1) 放送文化……………3件
- (2) 放送技術……………4件

## 第46回「放送文化基金賞」受賞一覧

部 門	賞 (賞金)	受 賞 者	番 組 名 ・ 業 績	
番 組 部 門	テレビドキュメンタリー番組組	最 優 秀 賞 (100万円)	日本テレビ放送網 NNNドキュメント'19 「なかったことに、したかった。未成年の性被害①」 「なかったことに、できない。性被害②回復への道は」	
		優 秀 賞 (50万円)	北日本放送 KNBふるさとスペシャル 19人を殺した君と 重い障がいのある私の対話	
		(30万円)	NHK広島拠点放送局 NHKスペシャル “ヒロシマの声” がきこえますか ～生まれ変わった原爆資料館～	
		奨 励 賞 (30万円)	NHK NHKスペシャル 昭和天皇は何を語ったのか ～初公開・秘録「拝謁記」～	
	(30万円)	CBCテレビ 土がくる 規制なき負の産物の行方		
	テレビドラマ番組組	最 優 秀 賞 (100万円)	NHK大阪拠点放送局 土曜ドラマ 心の傷を癒す <sup>いや</sup> ということ	
		優 秀 賞 (50万円)	NHK大阪拠点放送局 よるドラ だから私は推しました	
		(30万円)	WOWOW 連続ドラマW そして、生きる	
		奨 励 賞 (30万円)	NHK スペシャルドラマ ストレンジャー～上海の芥川龍之介～	
	テレビエンターテインメント番組組	最 優 秀 賞 (100万円)	フジテレビジョン、イースト・エンタテインメント 奇跡体験！アンビリバボー 仲間たちとの12年越しの約束SP	
		優 秀 賞 (50万円)	沖縄テレビ放送 民教協スペシャル サンマデモクラシー	
		(30万円)	NHK、NHKエンタープライズ、日テレアックスオン セカンドの美学 ルパン三世・峰不二子	
		奨 励 賞 (30万円)	朝日放送テレビ M-1アナザーストーリー ～漫才人生、果てなき道～	
	ラジオ番組組	最 優 秀 賞 (100万円)	エフエム東京 TOKYO FM特別番組 ねじれちまった悲しみに	
		優 秀 賞 (50万円)	文化放送 文化放送報道スペシャル 戦争はあった	
		奨 励 賞 (30万円)	CBCラジオ マリエのように	
	個人・グループ部門	放送文化	演 技 賞 (20万円)	柄本 佑 土曜ドラマ 心の傷を癒す <sup>いや</sup> ということ
			演 技 賞 (20万円)	桜井ユキ よるドラ だから私は推しました
			出 演 者 賞 (20万円)	八木勝自 KNBふるさとスペシャル 19人を殺した君と 重い障がいのある私の対話
			演 出 賞 (20万円)	加藤 拓 スペシャルドラマ ストレンジャー～上海の芥川龍之介～
			出 演 者 賞 (20万円)	杉田秀之 奇跡体験！アンビリバボー 仲間たちとの12年越しの約束SP
			出 演 者 賞 (20万円)	アーサー・ビナード 文化放送報道スペシャル 戦争はあった
	放送技術	(30万円)	川端 和治 (弁護士) BPO放送倫理検証委員会初代委員長としての放送倫理の確立への多大なる貢献	
		(30万円)	特定非営利活動法人エフエムわいわい 阪神・淡路大震災から25年にわたる地域ラジオ活動、及び全国・海外の被災地ラジオ支援活動	
(30万円)		阪神淡路大震災アーカイブプロジェクト (朝日放送テレビ) 「激震の記録1995 取材映像アーカイブ」の取り組みと公開		
(30万円)		SFNフィールドアナライザ開発チーム (山口放送、日本通信機) 代表 恵良勝治 (山口放送) FM同期放送用SFNフィールドアナライザの開発と実用化		
(30万円)		総合コンテンツ管理システム検討プロジェクト (フジテレビジョン) 代表 井村紀彦 総合コンテンツ管理システムとオンラインキューシートで実現した送出ワークフロー改革		
(30万円)	フレキシブル有機ELディスプレイ開発グループ (NHK、シャープ) 代表 清水貴央 (NHK) スーパーハイビジョン用フレキシブル有機ELディスプレイの開発			
(30万円)	フラッシュ点滅映像リアルタイム自動軽減装置開発グループ (NHK、朋栄) 代表 中村晴幸 (NHK) フラッシュ点滅映像リアルタイム自動軽減装置の開発			

\*番組部門の各賞と個人・グループ部門は、受付順による。

第46回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビドキュメンタリー番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>NNNドキュメント'19 「なかったことに、したかった。未成年の性被害①」 「なかったことに、できない。性被害②回復への道は」</p> <p>2019. 10. 7 (月) 2019. 10. 14 (月)</p> <p>日本テレビ放送網</p>	<p>ディレクター 植田 恵子 ナレーター 國井 千聖 撮影 門脇 妙子 編集 松田 美子 プロデューサー 福田 晴雄 古市 礼子 今村 忠 チーフプロデューサー 有田 泰紀</p>	<p>2019年、性犯罪裁判で無罪判決が相次いだ。理由は被害者が抵抗しなかったからだという。本当にそうか？我々は被害を訴える様々な方々取材した。性被害の8割は顔見知りからで、被害者は体が凍り付く。被害者の4割は未成年で、証言能力が低いと判断される。被害者は周囲から「あなたにも落ち度がある、相手にも家族がある」と責められる。問題の本質は勇気を出して告発した被害者の思いをくみ取れない私たちにあるのではないか。罰せられる事もない加害者は実態をよく知るべきであり、変わるべきは私たち社会ではないか。</p> <p>そして、性犯罪の被害者は、体の傷だけではなく、精神も傷つく。自傷行為、自殺願望、性の回避や依存。他人との人間関係が構築できないなど、人間の発達に大きな影を落とす。そして心と体の傷は、長い時間が経っても癒えることはなく、むしろじわじわと被害者を蝕んでいく。そんな被害者は、どうやって回復していくのか。2週連続で被害の実態を訴え回復への手がかりを探った。</p>	<p>2019年、性暴力への判決に批判が広がった。当時19歳の娘への性的暴行の罪に問われた父親に、無罪が言い渡されたのだ。無罪判決の理由は、「被害者が抵抗できない心理状態」を意味する「抗拒不能」だった。被害者の4割は未成年で、その8割は顔見知りからの犯行だという。番組では、「抵抗できない」立場にある者に加えられた性被害と、その実態。さらに、被害者の生涯負う傷を描いている。被害を告げることさえできなかった被害者の苦しみと、救うことのできなかった法律の不備を問う、これまでになかった切り口の番組である。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>KNBふるさとスペシャル 19人を殺した君と重い障がいのある私の対話</p> <p>2019. 11. 24 (日)</p> <p>北日本放送</p>	<p>取材・構成・ナレーション 武道優美子 撮影 羽柴 泉 音声 宮本 敏郎 山本久美子 題字 島 小織 CG 平井麻美子 編集 平島 健一 ミキサー 中木 輝一 音響効果 半澤 知宏 制作統括 河原 哲志 出演 八木 勝自</p>	<p>富山市の八木勝自さんは脳性まひがあり、首から下が動かせない。20代で施設を出て、地域での暮らしを選び、障がい者の自立を支援するNPOの代表を務めている。</p> <p>2016年、神奈川県障害者施設で事件が起き、元職員・植松聖により入所者19人の命が奪われた。</p> <p>「なぜ、障がい者が殺されたのか」を考え続けた八木さんは、去年夏、植松被告に手紙を送り、接見を求めた。現れた被告は「意思疎通がとれない障害者は価値がない」と持論を押し付け、八木さんに問いかけた。「人間とは何ぞや？」対話から浮き彫りになる思想。それは、私たちにも向けられていた。</p>	<p>手足に重い障がいのある八木勝自さんは、「津久井やまゆり園」で19人を殺害した植松聖被告に手紙を書いて会いに行く。八木さんと植松被告の息詰まるやり取り。八木さんは自身の力で、障がい者を差別する社会を浮き彫りにした。</p>

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>NHKスペシャル “ヒロシマの声”がきこえますか～生まれ変わった原爆資料館～</p> <p>2019. 8. 6 (火)</p> <p>NHK広島拠点放送局</p>	<p>プロデューサー 佐藤 稔彦 樋口 俊一</p> <p>ディレクター 佐野 剛士 安田 哲郎 麓 直弥</p> <p>語り 中村 倫也 杉浦 圭子</p> <p>撮影 山口 卓也</p> <p>音声 北村 翼</p> <p>編集 田村 麻由</p> <p>音響効果 定本 正治</p>	<p>広島原爆資料館で、“戦後最大のリニューアル”が行われた。遺品や写真に刻まれた被爆の記憶やエピソードを調査し、「どんな人が持っていたのか」「のこされた家族は何を思うのか」など、“個人の物語”を記して、展示することにしたのだ。</p> <p>番組では、遺品や写真の由来を取材。「血と汗が滲んだ1枚のシャツ」に込められた「兄の悲しみ」や、「被爆した母と、生まれた子供」の写真の秘話を明らかにした。被爆体験を語れる人が少なくなる中、未来に被爆を継承しようと模索を続けるヒロシマ。被爆者や遺族たちが原爆資料館に託した“ラストメッセージ”に迫る。</p>	<p>ヒロシマの原爆資料館が、戦後最大のリニューアルを行った。そのコンセプトは、はっきりしている。被爆者は歳を取り、原爆の生々しい記憶も風化してゆく。ならば、家族の悲しみや苦しみを、被爆者とのエピソードや思い出とともに、人々と共有していこうということだ。風化する「継承」を資料館と共に考える、素晴らしい番組。</p>
<p>NHKスペシャル 昭和天皇は何を語ったのか～初公開・秘録「拝謁記」～</p> <p>2019. 8. 17 (土)</p> <p>NHK</p>	<p>出演 片岡孝太郎 橋爪 功</p> <p>語り 広瀬 修子</p> <p>取材 鈴木 高晴 吉見 直人</p> <p>音響効果 佐々木隆夫</p> <p>編集 吉岡 雅春</p> <p>撮影 富永真太郎</p> <p>ディレクター 小林 亮夫 岡田 亨</p> <p>制作統括 塩田 純 杉田 陽介 梅原 勇樹</p>	<p>象徴天皇の原点に迫る第一級の史料が発見された。初代宮内庁長官として、昭和天皇のそばにあった田島道治の「拝謁記」。1949年から5年近く、天皇の言動が克明に記録されていた。天皇は、戦争を防げなかった悔恨を赤裸々に語り、独立に際して、国民への「おことば」で反省の気持ちを表明しようとする。しかし、吉田茂首相が反対し、重要な一節が削除されていた。さらに天皇は、沖縄や改憲・再軍備についても言及。知られざる人間・天皇の姿が浮かび上がった。番組では、一言一句を忠実にドラマで再現。戦後史を書き換える新史料をわかりやすく伝えた。</p>	<p>初代宮内庁長官の田島道治の「拝謁記」には、占領期における昭和天皇の言動が克明に記録されていた。その記録に基づいて、二人の俳優が天皇と田島を演じる。ドラマという虚構だからこそ、象徴としてのあり方に悩む鮮烈な天皇像が描かれた。</p>
<p>土がくる 規制なき負の産物の行方</p> <p>2019. 11. 20 (水)</p> <p>CBCテレビ</p>	<p>語り 石井 亮次</p> <p>撮影 民部 靖人 岡村 大輔</p> <p>音声 牧野 敏則</p> <p>編集 竹内 雅文</p> <p>音響効果 笠原 貴一</p> <p>題字 新田夕岐子</p> <p>企画・取材・構成 有本 整</p> <p>取材 横山 朋未</p> <p>制作統括 大園 康志</p> <p>出演 日比野久美子 畑 明郎 奥村 武生 鈴木 英敬 尾上 壽一</p>	<p>愛知県瀬戸市の日比野さん夫婦は、土木業者に頼まれ、リニア新幹線の開発で出たという建設残土を休耕田に受け入れた。しかし約束の3倍もの量を運び込まれ、リニア建設の残土というのもウソだった。業者は撤去要請に応じず、行政も動かない。</p> <p>日本では建設残土は年間2億トン近く出るが、実は管理する法律がなく野放しで、土砂崩れなどを引き起こす問題が拡大している。</p> <p>一方、三重県の尾鷲市では、大型船で関東や関西から建設残土が搬入され、地元の豊かな山を切り崩して大量に投棄されていた。</p> <p>知られざる建設残土の実態から見えてくる日本の「今」とは。</p>	<p>都市開発などで出る2億トンもの建設残土。これらが今、地方の山や、個人の土地に棄てられている。背景には、建設残土を取り締まる法律がないことと、地方の過疎化がある。経済発展の陰で進行している社会問題を突き詰めた好番組。</p>

**第46回 放送文化基金賞**  
**「番組部門」**  
**－ テレビドラマ番組 －**

**最 優 秀 賞**

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概 要	選 考 理 由
土曜ドラマ 心の傷を癒すということ  2020. 1. 18 (土) ～2. 8 (土) <全4回> 応募は 第1回「神戸、青春の街」 第2回「僕たちの仕事」  NHK大阪拠点放送局	原案 安 克昌 脚本 桑原 亮子 音楽 世武 裕子 制作統括 城谷 厚司 プロデューサー 京田 光広 堀之内礼二郎  演出 橋本 果奈 安達もじり 松岡 一史 中泉 慧  出演 柄本 佑 尾野真千子 濱田 岳 森山直太朗 浅香 航大 濱田 マリ 趙 珉和 石橋 凌 キムラ緑子 近藤 正臣  ほか	ジャズピアノと読書をこよなく愛する安和隆(柄本佑)は、幼い時に自分が在日韓国人だと知って以来、自分が何者なのかを模索していた。やがて親友の湯浅(濱田岳)と同じ大学の医学部に進み、青春を謳歌。映画をきっかけに出会った終子(尾野真千子)と恋に落ちる。大学では、まだ心の傷への社会の理解が乏しい時代の中で、精神科医の永野教授(近藤正臣)の影響を受け、父・哲圭(石橋凌)から猛反対にあうにもかかわらず、精神医療の道に進むことを決意する。それから数年後の1995年1月17日。精神科医となった和隆が暮らす神戸の街を、大地震が襲う。その直後に向かった勤務先の病院で和隆が目にしたのは、野戦病院さながらの光景だった。無力さを痛感しながらも、身体的な治療の後にはきっと心の治療が必要になると感じた和隆は、避難所を回りながら心の傷に苦しむ被災者に寄り添っていく。	「弱いってというのは大事なことだよ。他人の弱さがわかるからね」や、「医者の仕事というのは、そばに寄り添うことでしかない」といった名ゼリフが、「心の傷を癒すということ」の本質を衝いた。サントリー学芸賞を受賞した安克昌著の原作の良さもあるが、心に傷を抱えて生きる人の多い現代を支えてくれる感動の作品となった。柄本佑の演技が秀逸であり、誰かのために穏やかに、しかし忍耐強く一緒にいることの大切さを伝えてくれた。

**優 秀 賞**

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概 要	選 考 理 由
よるドラ だから私は推しました  2019. 7. 27 (土) ～9. 14 (土) <全8回> 応募は第1回、2回、3回、4回  NHK大阪拠点放送局	作 森下 佳子 音楽 蔡 忠浩 制作統括 三鬼 一希 出水 有三 プロデューサー 高橋優香子 演出 保坂 慶太 姜 暎樹  出演 渡邊 良雄 桜井 ユキ 白石 聖 細田 善彦 松田 るか 笠原 秀幸 田中 珠里 松川 星 天木じゅん 澤部 佑 村杉蟬之介  ほか	「他人からのイイネが無いと不安」「みんなが良いって言うものしか良いって思えない」そんな生きづらさを抱えるアラサーOLの遠藤愛(桜井ユキ)は、リア充な自分を演じる日々の中で5人組地下アイドルのメンバー・栗本ハナ(白石聖)と出会う。ダンスだめ、歌だめ、おまけに人見知りというダメダメアイドルのハナだが、心に秘めた思いは人一倍。不器用ながらも等身大で頑張る姿に勇気ももらい、愛は彼女を応援しようと決意する。しかし、それこそがオタク沼の始まりだった…。果たして推しとの出会いは吉か凶か? 自らが愛したものに突き進むヒロインの、転落と成長の物語。	「いいね」をもらうことでしか承認欲求を満たせない現代人の生き方に鋭いメスを入れ、地下アイドルをしっかり取材して現代文化を深く抉った秀作。タイトルに込められた言葉遊びに象徴されるドラマ展開の意外性も極めてエンターテイニングだ。

## 奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>連続ドラマW そして、生きる</p> <p>2019. 8. 4 (日) ～9. 8 (日) ＜全 6 回＞ 応募は第 1 回、6 回</p> <p>WOWOW</p>	<p>脚本 岡田 恵和 監督 月川 翔 音楽 村松 崇継 プロデューサー 岡野真紀子</p> <p>撮影 渡辺 良介 照明 山田 康介 録音 西村 昌幸 美術 柳屋 文彦 編集 五辻 圭 出演 穂垣順之助 有村 架純 坂口健太郎 知英 岡山 天音 萩原 聖人 光石 研 南 果歩 ほか</p>	<p>3 歳の時に交通事故で両親を亡くした生田瞳子は盛岡で理髪店を営む伯父に引き取られる。瞳子は、地元のアイドルとして活動することもあり、いつしか女優を志すようになっていた。</p> <p>19 歳になった瞳子は東京で開催されるオーディションに挑もうとするが、本番前日の 2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が起きる。</p> <p>その年の秋。気仙沼でのボランティア活動に参加した瞳子は、学生ボランティア団体の運営メンバーである清水清隆と出会う。</p> <p>ボランティア活動を通して感じた“生きる意義”を見出すためにも、自らの意思で道を選択し、人生を切り開いていく。</p> <p>愛とは一、生きるとは一を真正面から描いた渾身作。</p>	<p>有村架純、坂口健太郎、知英の演技が光った作品であり、東日本大震災直後のボランティア活動をした若者たちの生き様をリアルに描いた佳作。自分で自らの人生を選ぶことの大切さを描いて高く評価された。</p>
<p>スペシャルドラマ ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～</p> <p>2019. 12. 30 (月)</p> <p>NHK</p>	<p>作 渡辺 あや 原案 芥川龍之介 音楽 稲本 響 演出 加藤 拓 制作統括 勝田 夏子 プロデューサー 板垣麻衣子 撮影監督 北 信康 人物デザイン監修 柘植伊佐夫 美術 岡島 太郎 技術 前田 貢作 出演 松田 龍平 岡部たかし 中村 ゆり 奈緒 金 世佳 ほか</p>	<p>1921 (大正 10) 年、芥川龍之介 (当時 29 歳) は新聞社の特派員として上海に渡る。幼少期から「西遊記」などの古典に親しんだ芥川にとって、そこは憧れの理想郷のはずだった。だが、当時の中国は動乱のさなか。清朝を倒した革命は、軍閥の割拠という混乱に至り、西欧諸国や日本が上海の租界をわがもの顔で支配し、民衆は壮絶な貧困にあえいでいた。理想と現実のギャップに絶望すら覚えながらも、芥川の知性は巨龍・中国の精神世界へと分け入っていく。そこで出会うのは、革命の世で政治と向き合う知識人たちと、裏路地でしたたかに生き抜く妓楼の人々だった…。</p>	<p>映像が極めて美しく、完成度の高い大作であり、最優秀賞として推す委員もいた。謎めいた中国の世界に異邦人として訪れた芥川の戸惑いや違和感なども巧みに表現され、松田龍平の演技も光っていた。</p>

第46回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビエンターテインメント番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>奇跡体験！アンビリバボー 仲間たちとの12年越しの約束 SP</p> <p>2019.9.26 (木)</p> <p>フジテレビジョン イースト・エンターテインメント</p>	<p>プロデューサー 角井 英之 総合演出 山森 正志 ディレクター 谷 悠里 酒井 和宏 鈴木麻衣子 アシスタントディレクター 奥田 直貴 田中 大輝 構成 成田はじめ 梅村 真也 編成企画 島本 講太 出演 ビートたけし 剛力 彩芽 バナナマン 武井 壮 川田 裕美 杉田 秀之 慶應義塾大学ラグビー部のみなさん</p>	<p>ケガによって障がいを負った慶應義塾大学ラグビー部の杉田秀之さんが、ケガから12年後に、仲間の支えによって富士登山に挑んだ模様独占密着した。</p> <p>杉田さんは、2007年ラグビー部に入部。しかし、その夏の合宿中、頸髄を損傷してしまう。将来に絶望した杉田さんは部との連絡を絶ってしまう。</p> <p>同期が4年生になった年、仲間から「部に戻って来ないか」という連絡がくるようになる。仲間たちの情熱に動かされて分析係として部に復帰。その年、慶大は10年ぶりに早大に勝利。その陰には、杉田さんがしたあることが…。</p> <p>そして、ケガから10年経ったある日。仲間から「いつ富士山登るの?」というメッセージが届く。実は、杉田さんが負傷した合宿の最終日に部員全員で富士登山の計画があったのだが、ケガにより中止に。再び仲間たちの思いにつき動かされ、富士山に登る決心をする。そして、2019年8月杉田さんは仲間たち約80人と共に12年越しの約束を果たすべく富士登山へ挑む。</p>	<p>練習試合中の不慮の事故で選手生命を絶たれた慶大ラグビー部の杉田秀之さんが、ケガから12年後、仲間の支えによって約束の富士登山に挑む。その一部始終を、綿密な取材と質の高い再現ドラマ、そして登山への密着取材で見応えたっぷりに描き出した。杉田さん、監督、部員たち、それぞれの止まっていた時間が動き出す瞬間が記録された奇跡的な番組となった。20年以上にわたって人間が生み出す「奇跡」を追い続け、再現ドラマの手法を磨き上げてきた『奇跡体験！アンビリバボー』の歴史が結実した屈指の「神回」である。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>民教協スペシャル サンマデモクラシー</p> <p>2020.2.8 (土)</p> <p>沖縄テレビ放送</p>	<p>企画・演出 山里 孫存 構成 渡邊 修一 撮影・編集 祝 三志郎 プロデューサー 雪竹 弘一 松田 牧人 取材ディレクター 佐久本浩志 ナビゲーター うちな～嘶家 志いさー ナレーター 川平 慈英</p>	<p>「民主主義を勝ち取れ！」名もなき沖縄の人々のエネルギーは、やがて国をも動かした。そのビッグウェイブの発端は、サンマをめぐる小さな裁判だった！</p> <p>米軍統治下に置かれ、祖国復帰を願う沖縄の人々が、楽しみにしていた大衆魚サンマ。そんな庶民の味サンマが、ある日突然20%もの関税がかけられて値上がりした。沖縄の帝王・高等弁務官が決めたこの理不尽なルール「布令」に、一人のおばあが噛みついた！</p> <p>「サンマの税金を返せ！」と、高等弁務官を相手に裁判を起こしたのだ。おばあが起こしたこの「サンマ裁判」は、いつしか「民主主義」をかけた大きな闘いへと発展していく。</p>	<p>本土復帰前の沖縄で、大衆魚サンマに掛かる不当な関税をめぐる争われた通称「サンマ裁判」。その珍騒動の歴史を辿りながら、現代沖縄の自治や民主主義を鋭く問いかける。うちな～嘶家・志いさーによる落語をベースにした展開も斬新だった。</p>

## 奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
セカンドの美学 ルパン三世・峰不二子  2019. 9. 21 (土)  NHK NHKエンタープライズ 日テレアックスオン	ディレクター プロデューサー 取材  映像デザイン 構成 編集 音響効果 制作統括  出演 語り  黒瀬 敦子 神崎 裕子 宮良 純子 大川 広志 田邊 良樹 酒井 麻衣 佐藤 穂波 竹村 武司 馬場 勝 田上ゆかり 岩根 好孝 小嶺 良輔 井ノ原快彦 古田 新太	人はなぜ“主演”ではなく“脇役”に魅力を感じるのか？ ヒーローの影で独特の存在感を放つ二番手＝“セカンド”の美学に迫るシリーズ。 今回は、女性キャラクターとして抜群の知名度を誇る「ルパン三世」峰不二子。 誕生から約50年、今なお愛され続けるワケとは？ 取材班はテレビアニメ全276話・計6723分を徹底調査。 時代背景や家庭環境、声や体の特徴からファッション、下着に至るまで多角的な目線でアニメを見続け、関係者や専門家を訪ね歩いた。 3か月にわたる深掘り調査の末、昭和・平成・令和を生き抜いた峰不二子の美学が浮かびあがる。	アニメ『ルパン三世』の人気キャラ・峰不二子の魅力を、時代背景、ファッションや台詞、生い立ちなど、様々な角度から楽しくかつ大真面目に徹底調査。時代に抗い、自立する現代女性の象徴として再評価して見せた。秀逸な批評エンターテインメントである。
M-1 アナザーストーリー ～漫才人生、果てなき道～  2020. 1. 11 (土)  朝日放送テレビ	プロデューサー  チーフディレクター・演出 ディレクター  出演  田中 和也 栗山 哲治 北村 誠之 白石 和也 亀井 俊徳 下山 航平  坪内 大輔 小南 彰 石田 琢真 辻 知奈美  ほか ミルクボーイ かまいたち 和牛	漫才頂上決戦・M-1 グランプリ。2019年大会は、コンビ結成15年のラストイヤーを迎え、悲壮な覚悟で挑んだ「かまいたち」や、前年まで3年連続2位の「和牛」など、実力派の常連組が優勝候補と囁かれていた。そんな中、優勝トロフィーを手にしたのは、テレビでの漫才披露が2019年初だった、完全無名の「ミルクボーイ」だった。そんなドラマの舞台裏を、1回戦が始まった8月から長期間にわたって完全密着。審査員の松本人志氏が“史上最高”と評した青春群像劇、漫才師たちのM-1「アナザーストーリー」を、膨大な記録映像でドキュメンタリーとして紡いだ。	「ミルクボーイ」が劇的な優勝を飾った漫才頂上決戦『M-1 グランプリ 2019』。その舞台裏を123台のカメラで追いかけて、漫才に人生をかける敗者たちの群像劇として描き出した。テレビ芸能史における『M-1 グランプリ』の功績と合わせて高く評価したい。



第46回 放送文化基金賞

「番組部門」

— ラジオ番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>TOKYO FM特 別番組 ねじれちまった悲し みに</p> <p>2019. 8. 18(日)</p> <p>エフエム東京</p>	<p>プロデューサー 延江 浩 増山 麗央 伏見 竜也 西澤 史郎 伊藤慎太郎 小川 哲 マイケル・ エメリック 上野千鶴子 藤岡 泰弘 長瀬 海 藤間 爽子</p> <p>演出 構成 演出補 出演</p>	<p>2019年5月に亡くなった思想家・ 文芸評論家の加藤典洋は、『敗戦後 論』『アメリカの影』などで、平和主義 を唱えながらも世界で戦争を続け る米国に従属するという戦後日本 の「ねじれ」を指摘し続けてきた。 最後の著作となったのは『9条入 門』。戦後日本の「ねじれ」の原点 でもある日本国憲法第9条の誕生に ついて書かれたこの本を持ち、作家 小川哲が「加藤典洋」を巡る旅に出 る。時あたかも参議院選挙、さら には憲法改正の国民投票も現実化し てきた2019年の夏。加藤典洋が指 摘してきた「ねじれ」について、参 院選の街頭演説、8月15日の靖国神 社などの東京の街風景を歩きなが ら小川哲は考えた。与党と野党のね じれ、政治と文学のねじれ、改憲と 護憲のねじれ……小川哲が対話す るのは、加藤典洋をリスペクトし、 話題となった2019年東京大学入学 式でも「ねじれ」という言葉を使っ た社会学者上野千鶴子、さらには日 本文学研究者で、加藤と多くの仕事 をしてきたカリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 教授マイケル・エメリック である。番組のストーリーテラーを つとめるのは女優藤間爽子。加藤典 洋が訴えてきた「ねじれ」に向き合 う、一夏のドキュメンタリーです。</p>	<p>『ねじれちまった 悲しみに』は、加 藤典洋氏の死と令 和の始まりをきっ かけとして、戦後 のゆがみ、沖縄を めぐる矛盾、ナシ ョナリズムの顕在 化、経済格差など、 今の日本はこれで よかったのだろう かというぼんやり とした疑問を問う もので、エンタテ イメント手段とし てのラジオでは取 り上げられにくい 深く複雑な問題に ついて、正面から 精緻に考える刺激 を発信するものだ った。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>文化放送報道スペシ ヤル 戦争はあった</p> <p>2019. 8. 28 (水)</p> <p>文化放送</p>	<p>プロデューサー 鈴木 敏夫 構成 山田 睦美 編集・ディレクター 相笠 淳一 取材 伊藤 佳子 石森 則和 吉田 涙子 小谷 哲一 田中 正史 アーサー・ ビナード 鈴木 純子 山本 武利 栗原 俊雄 山下 徹 野上沙登子 釣巻 耕秀</p> <p>出演</p>	<p>小松左京氏の『戦争はなかった』 という短編小説がある。同窓会に集 まった仲間たちが誰も「あの戦争」 のことを覚えていないというSF ホラーだ。アーサー・ビナード氏が 発した「この作品こそが今の日本を 予見している」という一言をきっか けに、私たちは一度も見たことがな い「戦争」というものを探すことと なった。 ①池袋の雑踏に隠れた東京裁判 ②大規模団地の路地に眠る特攻隊 ③女子大で守られてきた軍部中枢 ④文化放送に払い下げられた隠ぺ い送信所 ⑤オタクの聖地に隠れる スパイ養成所 我々は、戦争の残滓を見つけた。 それは、どれも日常生活のすぐ隣で ひっそりと佇んでいた。</p>	<p>『戦争はあった』 は、小松左京の小説 をアイデアとして、 日常的に私たちが 謳歌しているふだ んの暮らしの地面 の下に、戦争遺跡と でもいべきもの が多く潜んでいる ことを、アーサー・ ビナード氏の軽快 な語り口で次々と 明らかにしていく。 戦争について、今ま でにない切り口で とりあげて、楽しく さえあった。</p>

## 奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
マリエのように       2019. 11. 21 (木)   CBCラジオ	プロデューサー 森合 康行 ディレクター 森 理恵子 取材協力 太田哲太郎 語り 増田 喜昭 音響効果 奥野 賢司 橋高 良政 出演 小崎麻莉絵 谷川俊太郎	三重県在住の小崎（田中）麻莉絵さん(35)は、血液の病気で5年の余命宣告を受けながら「ヘルプマーク」普及に尽力する。ヘルプマークは、外見では病気・障害とわかりにくいのが本当は周囲に援助や配慮を求めているマークのこと。 このマークは、2017年に全国共通となるが簡単には普及せず、小崎さんらの地道な活動などにより全国へ広がりを見せる。番組は、小崎さんのヘルプマーク普及活動を2年以上に渡り取材し、「今を生きる」前向きな姿を描く。	『マリエのように』は、死病を宣告されたマリエさんが、残された余命を驚くほど明るく生きていくドキュメントで、先の見えない不安に捉われているコロナ禍の時代にあって、どう暮らしたらいいのか、しみじみと聴ける番組だった。

## 第46回放送文化基金賞

### 「番組部門」

#### 演技賞

受賞者	対象番組	選考理由等
えもと たすく 柄本 佑	土曜ドラマ 心の傷を癒すということ (NHK大阪拠点放送局)  テレビドラマ番組	『心の傷を癒すということ』では、最終選考に残った『完本 怪談牡丹燈籠』や『知らなくていいコト』におけるものとは大きく異なる人物を演じ、人の心に寄り添う大切さを噛みしめたストイックな演技が圧巻だった。

#### 演技賞

さくらい 桜井 ユキ	よるドラ だから私は推しました (NHK大阪拠点放送局)  テレビドラマ番組	ネット上の承認欲求に振り回されてしまう現代人の心の屈折や、「女オタ」にのめり込む疾走感を巧みに表現した演技力は秀逸。初主演のドラマで、その魅力を十二分に発揮したことを高く評価したい。
---------------	----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

#### 出演者賞

やぎ かつじ 八木 勝自	KNBふるさとスペシャル 19人を殺した君と 重い障がいのある私の対話 (北日本放送)  テレビドキュメンタリー番組	養護施設で育った八木さん。八木さんには、八木さんにしかわからない真実があり、八木さんにしか伝えられない言葉がある。だが、植松被告は「悪いことをしたとは思っていない」と繰り返すだけだ。八木さんは、対峙すらできない擦れ違いを感じつつも、「死刑にはしてはいけない」と繰り返す。当事者である八木さんの前では、「差別」という言葉すら、上っ面に過ぎないことが伝わってくる。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 演出賞

かとう たく 加藤 拓	スペシャルドラマ ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～ (NHK)  テレビドラマ番組	『ストレンジャー～上海の芥川龍之介～』は異国情緒漂う世界に入り込んだ異邦人の感性を美しく表現した作品。その完成度の高さは演出の功績だと判断した。
----------------	------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------

#### 出演者賞

すぎた ひでゆき 杉田 秀之	奇跡体験！アンビリバボー 仲間たちとの12年越しの約束 SP フジテレビジョン イースト・エンタテインメント  テレビエンタテインメント番組	自分の弱さを受け入れることで、人は強くなれるということを身をもって示した。「転んでも起き上がる」ラグビーのような彼の生き方が、番組に説得力と感動をもたらした。
-------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

#### 出演者賞

アーサー・ビナード	文化放送報道スペシャル 戦争はあった (文化放送)  ラジオ番組	アメリカから来日したアーサー・ビナード氏ならではの視点や、表現力が番組の大きな力となった。声と喋りのテンポが素晴らしい。
-----------	----------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

**第46回放送文化基金賞**  
**「個人・グループ部門」**  
**－放送文化－**

受賞者	業績	業績内容・選考理由
かわはた よしはる <b>川端 和治</b> (弁護士)	BPO放送倫理検証委員会初代委員長としての放送倫理の確立への多大なる貢献	2007年から11年間、放送界の第三者機関である放送倫理・番組向上機構(BPO)初代放送倫理検証委員会委員長をつとめた。ワイドショーからニュースまで多岐にわたる28本の番組について虚偽放送や人権侵害等、放送倫理上の問題を審理・審議し、結果を委員会決定として公表、自由と公共性というテレビのあるべき姿を問い続けてきた。退任翌年の2019年、新著『放送の自由—その公共性を問う』を上梓、公権力から独立して真実を伝え、表現の自由を守ることが、通信との融合が進む時代にあっても、放送が生き残る道だと歴史と憲法論も踏まえて論じ、放送界にエールを送っている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
特定非営利活動法人 エフエムわいわい	阪神・淡路大震災から25年にわたる地域ラジオ活動、及び全国・海外の被災地ラジオ支援活動	阪神・淡路大震災直後に被災外国人向けに放送を始めたミニFM局2局が合併し、コミュニティFM局「FMわいわい」として多言語・多文化放送を続けている。2016年インターネット放送局に移行したが、放送設備は維持し、災害時には臨時災害局になることで神戸市と協定を結んでいる。全国の被災地ラジオのモデルとなる地域ラジオ局のパイオニアとしてコミュニティ情報活動を行い、日本をはじめ海外の被災地のラジオ放送支援活動も行う。地域密着のローカル局でありながら、国内外の被災地支援の先頭に立ち、グローカリズムという潮流を放送文化の力で神戸を拠点に作り出してきた。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
阪神淡路大震災アーカイブプロジェクト (朝日放送テレビ)	「激震の記録1995取材映像アーカイブ」の取り組みと公開	阪神・淡路大震災から4半世紀がたち、被災経験や教訓の風化が急速に進んでいる。朝日放送グループでは、未来の「防災・減災」に活かしてもらおうと、当時のインタビューや撮影した風景など約2千件、38時間にのぼる映像アーカイブをWEBサイトで公開。また、被災地の地図と連動させ、撮影日時、場所で動画の検索もできる。公開にあたっては、震災経験のない若い世代に映像を視聴してもらって意見を聞くとともに、有識者らと研究会を開催し、ほとんどモザイクなしの映像で公開に踏み切ったという。阪神・淡路大震災に関する放送局制作の映像アーカイブはこれまでになく、震災を後世に語り継ぐ上で貴重な資料となっている。

## 第46回放送文化基金賞

### 「個人・グループ部門」

#### －放送技術－

受賞者	業績	業績内容・選考理由
SFNフィールドアナライザ開発チーム (山口放送、日本通信機)  代表 <small>えら まさはる</small> 恵良 勝治 (山口放送)	FM同期放送用SFNフィールドアナライザの開発と実用化	FM補完放送の送信網を構築するにあたり、同期放送の導入が進んでいる。同期放送送信網の構築・維持にはエリア内での精密な受信測定が必須で、これまでは深夜の番組休止時間に試験信号を発射し測定していたため負担も大きいという課題があった。本測定器の開発で昼間の通常番組で精密測定が可能となり、受信品質を客観的に測定する機能も含め、人員の少ない地域のラジオ局での送信網の構築・維持を容易にしたことは高く評価できる。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
総合コンテンツ管理システム検討プロジェクト  代表 <small>いむら のりひこ</small> 井村 紀彦 (フジテレビジョン)	総合コンテンツ管理システムとオンラインキューシートで実現した送出ワークフロー改革	これまでの送出設備では地上波、BS、CSなど各波用に番組テープをダビングし、それらに送出情報を記載した紙のキューシートを添付して登録、送出していた。同一素材の多波展開が増加する中で、キューシートはオンライン化、番組はファイル登録することで、送出準備、送出、アーカイブまで自動化を図り、さらにクラウドも積極的に導入することで、効率的で確実、かつ容易に設備拡張を可能としていることは高く評価できる。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
フレキシブル有機ELディスプレイ開発グループ (NHK、シャープ)  代表 <small>しみず たかひさ</small> 清水 貴央 (NHK)	スーパーハイビジョン用フレキシブル有機ELディスプレイの開発	プラスチックフィルム上に有機EL材料を高精細度に形成する技術を開発し、高画質化技術の開発とともにディスプレイの重さ100g、厚さ0.5ミリで直径4cmに丸めることができる30インチ4Kフレキシブル有機ELディスプレイを世界で初めて開発した。将来の家庭への大画面のテレビの普及、これまでにない新たなテレビ視聴スタイルの提供などが可能となる夢のテレビ実現への大きな一歩を踏み出す開発であり、早期の実用化を期待したい。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
フラッシュ点滅映像リアルタイム自動軽減装置開発グループ (NHK、朋栄)  代表 <small>なかむら はるゆき</small> 中村 晴幸 (NHK)	フラッシュ点滅映像リアルタイム自動軽減装置の開発	光点滅映像は視聴者に健康被害を及ぼす恐れがあるため、点滅の変化量を軽減する必要があるが、ニュース映像素材中のフラッシュ映像はこれまで画質を維持しながらリアルタイムで自動的に軽減させることが課題であった。本装置では、新たなアルゴリズムによりこの課題を解決し、既にNHK、民放のニュース送出で欠かせない放送機器となっていることは高く評価できる。さらに4K版の開発にも取り組んでおり、この実現も期待したい。